

令和6年度 伊佐沼すまいる保育園 事業報告書

1. 令和6年度 総括

令和6年度は、「自然を活かす」「文化に触れる」「自己表現（考える・伝える・思いやり）」をテーマに、園児54名でスタートしました。今年度も伊佐沼の四季折々の自然は子どもたちにたくさんの感動を与えてくれ、たくさんの学びにもつながりました。園庭や農道、散歩先の公園をはじめ、地域の方のご厚意で、レンゲ畑やひまわり畑、田んぼなどにも入らせていただき、たくさんの体験をすることができました。

園の環境では、7月に井上寿先生に来ていただき、ワークショップを行いました。子どもたちとも相談し、園庭のハロウィンハウスの改造、支援センターにテラスの設置、1階テラスにバーゴラ設置を行いました。合同保育や園庭遊びの幅が広がっています。支援センターのテラスは、つどいの広場利用者にも喜ばれています。

実習生や職場体験の中学生の受け入れも行いました。保育士を目指す学生さん、保育の仕事に関心を寄せる中学生の受け入れは、保育の未来のために大切なことと感じています。また、子どもたちにとっても、様々な人たちとの関わりが、10の姿の社会生活との関りにもつながると思います。

あゆみの会全体で取り組んできた「ビオトープ」をテーマにした環境作りも行いました。埼玉県「緑の活動支援補助事業」に応募し、「みどり自然課」様のアドバイスを受けながら、「ビオトープ」を完成させました。今年度は、「トンボが産卵し羽化できる池」をはじめ、たくさんの生き物が自然に集まってくるエリアを作りました。春になり、草が生え、花が咲くとたくさんの生き物が子どもたちを楽しませてくれることと思います。

今年度も、「伊佐沼すまいる保育園」は、保護者会をはじめ保護者全体の協力を多くいただいています。保育参加ではほとんどのご家庭の参加があり、お子さんの様子を見ていただき、お子様の成長を共有することができました。今後も、保育園、保護者、地域が一体となって子どもたちの成長を見守っていかれたらと思います。



たくさんの虫や草花が、こどもたちを楽しませてくれます。



自分の背丈よりたかいひまわりに感動！



新しく改装したロフトに挑戦する子どもたち



職業体験の中学生と遊ぶ子どもたち。中学生は大人気です。



トンボが産卵・羽化で来る池・カブトムシの牧場
その他、たくさんの蝶や虫が自然と集まってくるエリアを作りました。2階テラスに、はすやメダカのエリアもあります。



2. 児童利用状況

(1) 月別利用児童受託状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	4	4	4	5	10	10	11	11	11	11	11	11
1歳児	15	16	16	17	17	17	17	17	17	17	17	17
2歳児	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
3歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
4歳児	19	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
5歳児	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

(2) 延長保育利用状況（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	49	44	56	47	56	60	62	81	31	34	40	

3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00～8:00	最大 11 時間	有 料	
通常保育	8:00～16:00		最大 8 時間	
夕方延長	16:00～18:00		有 料	
有料延長	18:00～19:00	有 料		土曜日は無し

4. 職員

(1) 3月1日時点での在籍内訳（人）

常勤職員	10人	保育士	8人	看護師	0人	栄養士	2人	支援センター	0人
パート職員	24人	保育士	10人	看護師	1人	栄養士	1人	支援センター	1人
		保育事務	4人	保育補助	6名	調理員	1名	嘱託医	2名

5. 運営報告

(1) 開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議												
わくわく会												
にこにこ会												

(2) 各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

安全 WT	園内外の環境整備および保全、安全・防災に関する意識の強化、子どもと保護者への情報発信と学び合いに務める。ヒヤリハットの収集、各種訓練の計画・振り返りを行う。
食育 WT	健康な生活の基本としての「食を通した命の営み」の育成に向け、その基礎を培えるよう、食育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組む。 保育と給食の一体化を目指して、栄養士、調理員、保育者が連携する。

6. 保育・処遇

(1) 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	・保育者と保育内容や環境について共有し、適宜、悩みや戸惑いに寄り添うよう努めた。クラス会議、日々の振り返り等で、職員間の対話を重ねながら子どもにとってより良い環境とは何かなど考え、想いを形にするよう心がけた。 ・日々のドキュメンテーションの作成・発信、定期的にポートフォリオの作成を行い、個々の発達の把握、共有を行った。 ・職員とは定期的に個別面談を行った。
保護者面談および発達相談	・保育参加後の個人面談や日々のやり取りを通して、現在の子どもの状況を共有することで、双方の理解を深めながら子どもへのかかわりや環境について考える場を設けた。また、保護者・保護者の悩み等は、適宜個別面談を行い、子育ての不安を解消した。
園児の保護者への支援および意見要望への対応	・日々の連絡帳や口頭による要望、ご意見箱に投函された書面、保護者会役員からの質問等にはその都度対応した。連絡帳でやりとりが難しい内容は直接話しをする場を設けた。 ・保護者アンケートを実施し、意見や疑問に対しては、保護者懇談会等で全体に向けて発信を行ったり、個別の要望に関しては、直接やりとりをし、丁寧に伝えた。

(2) 年間行事の振り返り

- ・親子ふれあい遊び会：数年ぶりに「農業ふれあいセンター」の体育館をお借りし、行事を開催しました。多くの保護者様の参加があり、親子で思い切り触れ合い、お子様の成長を感じていただく事ができました。またたくさんの卒園児も参加もあり、伊佐沼の歴史が感じられました。
- ・ウインターフェスタ：今年度は作品展も同時に行い、子どもたちの日々行っている制作物を展示し成長を感じてもらうことができました。フェスタでは、親子の制作をはじめ、わくわく組によるダンスや、園児・保護者・職員が一体となった音楽表現、外では、火おこしも行い普段の保育の延長を意識した中でも、園児も保護者も楽しむことができましたと思います。
- ・秋祭りウィーク：秋祭りウィークでは、焼き芋会、ハロウィンなど、地域の方にも声を掛け、一緒に楽しみました。特にハロウィンでは、地域のご家庭に協力をいただき、仮装して訪問し、お菓子をもらったり、交流をしたりしました。子どもたちが地域に見守られているのを実感しました。地域の活性化につながると感じています。

その他にも、姉妹園交流や、園バスを利用した「けやの森学園」への遠足、お別れ遠足、年長児の観劇会など、園外へも積極的に出かけ、様々な人との関わり、たくさんの経験ができたと思います。



数年ぶりに体育館で行った
親子ふれあい遊び会
思いきり身体を動かしました



地域の方も子どもたちも
笑顔いっぱいの
ハロウィン



子どもたちも、保護者も
サンタさんも一体になった
ウインターフェスタ

(2) 給食・食育運営状況

- ・個々の発達や生活リズムなどに合わせて、和やかに食事ができるよう、個々の気持ちを尊重した関わりを心がけ、一人ひとりのペースに合わせて食事がとれるようにしています。
- ・食育活動では、にこにこ組では、こめとき、野菜ちぎり、食材を混ぜるつぶすなど、給食の食材に関わる機会を多くしたり、簡単なクッキングを行ったりしました。
わくわく組では、厨房と連携を取り、ポテトサラダ、カレー、蒸しパンなどたくさんのクッキングを行いました。
バケツでの稲の栽培や、野菜の種をまき育て収穫し調理して食べる活動も行いました。様々な食育活動を通して、食への関心が高められたと思います。
- ・SDGsの取り組みは今年も継続し、コンポストに、定期的に野菜くずを子どもたちが運び、できた土を栽培活動に利用しています。



行事食「いももち」で使用する
サツマイモをつぶしました。
(にこにこ組)



ニンジン収穫
その後クッキングをしました
(わくわく組)

(4) 保健に関する実施結果

園児健康診断	年2回実施(6月18日・11月26日)
歯科健診	年1回実施(6月14日)
保健だより	毎月1回発行(コドモン配信、資料室格納・園内掲示)
職員健康診断	年1回実施(11月2日、12月7日)
職員検便	年度内:全職員、毎月1回:0歳児担当者、厨房担当者
流行した感染症	RSウイルス(5名)・突発性発疹(6名)・胃腸炎(6名)・ プール熱(1名)・ヘルパンギーナ(2名)・新型コロナウイルス感染症 (6名)・溶連菌感染症(14名)・インフルエンザ(13名)マイコプラズマ 肺炎(4名)手足口病(58名)リンゴ病(3名) ※手足口病が大流行した以外は大きな流行はなかった。
その他、保健に関する取組	5月11日、6月1日に、全職員対象で普通救命講習を受講する 8月15日、16日、3月28日、31日(予定)に厨房害虫駆除実施

(5) 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
4月15日	避難・初期消火	無	無	
5月16日	避難・初期消火	無	無	
6月13日	総合防災訓練	有	有	通報訓練 水消火器訓練
7月16日	避難・初期消火	無	無	
8月19日	避難・初期消火	無	無	
9月17日	避難・初期消火	無	無	
10月11日	総合防災訓練 広域避難場所避難	有	有	通報訓練 水消火器訓練 引き取り訓練
11月15日	避難・初期消火	無	無	
12月16日	避難・初期消火	無	無	
1月15日	避難・初期消火	無	無	
2月17日	避難・初期消火	無	無	
3月17日	避難・初期消火	無	無	予定

7. 危機管理

(1) 非常災害備品の設置

- ・非常食の賞味期限、備蓄用品の確認を行う。※賞味期限切れの食材の入れ替えを行いました。

(2) 侵入者、不審者対応、水害訓練、引き渡し訓練

- ・不審者訓練：1月27日 川越警察署指導のもと、対応の仕方を学びました。
- ・水害訓練：9月25日・3月17日
- ・引き渡し訓練：10月11日 実際に農業ふれあいセンターに避難し、引き渡し訓練を行いました。
災害備品の展示、非常食の試食も行いました。

(3) 実施した環境整備の状況

- ・厨房設備の一部入れ替え（スチームコンベクション・冷凍庫）
- ・1階テラスにバーゴラ設置・支援センターにテラス設置、その他室内ロフトの改装など

(4) 園外保育での緊急時対応

- ・毎月28日を「散歩の日」として、緊急時の対応訓練を行いました。
(4月・5月・6月・10月・11月・1月・2月にここ、わくわくそれぞれのクラスで行う。)
- 天候急変・子どもの怪我・子どもが動けない・不審者、急な道路の通行止めによる迂回など、散歩先での対応や連絡を受けた事務所の対応を確認し実際にシミュレーションを行いました。

8. 地域との関わり

(1) 子育て支援

- ・ハロウィンや焼き芋会などの行事に、つどいの広場、一時保育利用の子どもたちも一緒に参加するなど、積極的に園行事に地域の方の参加を促しました。また、今年度も中学生の職場体験を受け入れ、2名の中学生が3日間子どもたちと関わっています。
- ・ブログやインスタグラムなどを通して、園の様子を発信しました。

(2) つどいの広場

新しいイベントを企画し、毎月多方面の地域の親子が参加してくださった。イベント効果か、例年だと利用人数が少ない11月と2月が共に最大の人数でした。リトミック、ミニ運動会、ハートの日(バレンタイン・ホワイトデー)、布の制作等を不定期開催したり、秋に川越運動公園へお散歩に行ったりしました。講師による親子の撮影会も好評でした。

また、幼児食の給食試食会に加え、離乳食の試食会も実施。食事に関する悩みも伺いながら楽しく給食を召し上がっていただきました。



つどいの広場は、いつも地域の親子の笑顔がいっぱいです

(3) 一時預かり事業

・今年度も、就労、緊急、短時間、リフレッシュの利用があった。就労での定期的な利用のほかに、月一回のリフレッシュをコンスタントに利用されるご家庭もあり、育児の負担軽減につながっていると感じている。

9. 職員研修

(1) 園内研修実績

実施日	テーマ・内容	
4月20日	安全について(SIDS、水の事故、散歩、誤飲・誤嚥、)CCW,人権、虐待、個人情報、散歩、電話対応、等 環境整備 ※一部合同	15名
6月1日	人権擁護(セルフチェック)、熱中症、感染症、保護者対応、地域子育て支援 毒虫についてなど	12名
6月22日	ふれあい遊び会【行事】 誤飲、誤嚥について、食事提供について	27名
7月28日	【合同園内研修】 委員会報告・けやの森報告など	18名
8月31日	環境整備(大掃除)	15名
10月5日	嘔吐処理、人権・虐待、個別配慮、保護者対応、散歩マニュアル、BCP、個人情報、環境整備	14名
11月30日	環境について、園のルールについて、環境整備(大掃除) ※一部合同	18名
2月22日	【合同園内研修】 各園報告・委員会報告、法人より、新入職者より振り返り、フレネ学校研修報告、令和7年度計画作成 【厨房研修】	23名
3月	新年度準備、引継ぎ、安全について(予定)	
管理職研修:5月11日、10月26日 トミーの日:7月23日(新入職者)、9月12日(新入職)、10月10日(新入職・中堅者) 11月21日(2.3年目)、12月12日(チューター・新入職) 2月20日(往還型:チューター・往還型:中堅者)		

(2) 外部研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
5/11・6/1	普通救命講習	全員
5/25・5/26	けやの森自然塾	3名
5月31日	不適切保育の防止	1名
7月6日	子どもが主体の「共主体」の保育へ（保育環境研究会）	2名
7月11日	防災の基本	3名
7月19日	森からのまなざし	9名
7月18日	給食従事者研修	1名
7月25日	保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領等に基づく保育	1名
7月25日	保育所等における児童虐待の防止	1名
8月	カスタマーハラスメント研修	2名
8月2日	インクルーシブ保育	1名
9月12日	野菜いやいや 野菜を全く食べない子	2名
9月13日	ふれあいタッチケア	2名
9月26日	BCP研修	1名
9月	心理的安全性のあるチームのつくり方研修	2名
10月8日	幼保小連携推進協議会	1名
10月21日	接遇研修	2名
11月7日	小学校との接続・連携	1名
11月19日	これって適切？不適切保育をしないために知っておきたいこと	3名
11月25日	給食職員研修会	1名
12月10日	子ども達の発達を踏まえた丁寧な関わり方、保護者支援と保護者対応	4名
12月12日	幼児のむし歯予防推進事業研修会	1名
2月10日	子どもの食物アレルギー講演会	1名

(3) キャリアアップ研修受講実績

実施日	研修分野	人数
10月1日・5日	乳児保育	1名
12月7日・23日	食育・アレルギー対応	1名
e ラーニング I 期	乳児保育	6名
	障害児保育	1名
	食育・アレルギー対応	3名
	保護者支援・子育て支援	1名
	保健衛生・安全対策	2名
	マネジメント	1名
e ラーニング II 期	乳児保育	1名
	幼児保育	3名
	障害児保育	2名
	食育・アレルギー対応	2名
	保護者支援・子育て支援	1名
	保健衛生・安全対策	1名

令和6年度 三丁目すまいる保育園 事業報告書

1. 令和6年度 総括

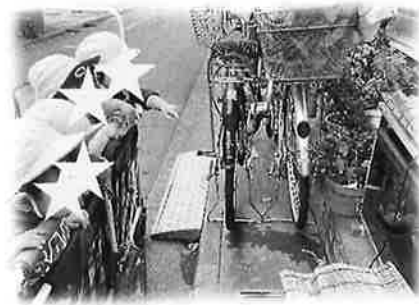
令和6年度は「子どもを信じる保育」を目標に新年度をスタートさせました。

新しい年度になり、新型コロナウイルスの脅威を経た「新しい生活様式」に合わせた形での年間行事などを最小限の制限でどのように行うか確立していった一年となりました。また、新たな試みとして2月に開催した「成長展」は、たくさんの保護者の方々が我が子のみならず一緒に過ごしているお友だちの成長を喜び、想いを共有している姿を見ることが出来、とてもあたたかな行事となりました。すべての行事において、保護者の皆さまの多大なご協力のもと、園児・保護者・保育者が一体となって取り組み、よりよい行事にしようという意気込みと笑顔があふれた活動となりました。また、記念すべき70年という「上福岡セタまつり」もたくさんのご家族が三丁目すまいる保育園の七夕飾りを見に繰り出していただき、保護者にとっても地域のとても多くの“つながり”が生まれ、法人理念でもある“笑顔”が増えたことを感じた一年でした。

保育内容においては、2歳児クラスまでである本園は、今まで0.1歳児と1.2歳児に分けて保育を行ってきましたが、2歳児の発達に合わせた細やかな活動をどのように展開をしていくかが課題となっていました。そこで今年度は、一人ひとりの発達に合った活動が展開できる環境を作るために、3階の月の部屋保育室を活用しました。これにより微細運動活動を集中して取り組む姿を見ることができました。とともに以上児へスムーズに移行できるよう、一人ひとりの気持ちを尊重しながら自分で考え行動できるよう保育者が意識をしてかわることで自分から他者へ興味が広がり、人と関わる力が育まれていきました。

職員がよりよい環境で仕事を取り組めるよう、保育室だけでなく事務室・相談室の整備、インカムを活用したコミュニケーションにも取り組みました。インカムを使用することにより、スムーズな伝達を実現することができています。

その他、今年度も継続して、ふじみ野市社会福祉協議会と連携し、つながる相談窓口の取り組み、埼玉県フードドライブキャンペーン、衣類バンクなど、地域の活動にも深く貢献している。新たな地域活動としてスターバックスコーヒー店舗を使用したパパママカフェ、地域共生社会展の参加があげられます。



2. 児童利用状況

(1) 月別利用児童受託状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	8	9	11	13	14	14	15	15	15	15	15	15
1歳児	21	23	23	23	24	24	24	24	24	23	22	22
2歳児	23	23	22	21	19	19	19	19	19	18	18	18

(2) 延長保育利用状況（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	52	26	34	58	38	71	89	79	63	68	61	65

3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00～8:00	最大11時間	有 料	
通常保育	8:00～16:00		最大8時間	
夕方延長	16:00～18:00		有 料	
有料延長	18:00～19:00	有 料		土曜日は無し

4. 職員

(1) 3月1日時点での在籍内訳（人）

常勤職員	10人	保育士	12人	看護師	0人	栄養士	0人	支援センター	0人
パート職員	人	保育士	15人	看護師	1人	栄養士	1人	支援センター	0人
調理員	3人	嘱託医	2人						

5. 運営報告

(1) 開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議												
わくわく会												
にこにこ会												

(2) 各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

研修 WT	職員の資質向上に向けての組織的かつ体系的な研修計画を立案し、保育全体の質を高める 保育者の自己評価および園の自己評価を定期的の実施し、保育の質の向上に取り組む
安全 WT	園内外の環境整備および保全、安全・防災に関する意識の強化、子どもと保護者への情報発信 と学び合いに務め、安全計画の作成やマニュアルの見直しなど、安心・安全な園内環境を守る
食育 WT	健康な生活の基本としての「食を楽しむ、感謝の気持ちを育む、季節を感じる」をテーマに食 育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組む
地域 WT	地域に開かれた保育園を目指して、地域の方々との交流を企画し実践をする

6. 保育・処遇

(1) 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	・保育内容や環境のみならず、毎日の保育の体制ボード作りから、委員会業務のフォローや行事の進め方まで、保育者それぞれが自身の想いを形にできるように心掛けた。 ・フューター制度を活用しながら、適宜悩みや戸惑いに寄り添うように努めた。 ・適宜ノンコンタクトタイムを取れるように、業務をリスト化し、優先順位を考慮しながら体制に組み入れた。
保護者面接および発達相談	・保育参加の際、保護者との面談を行い、保育園での生活の様子や、発達について共有した。 ・子どもの巡回相談事業を利用し、発育発達に不安のあるお子さまの様子を見てもらい、助言をいただく。その情報を保護者と連携施設（児童発達・発育支援センター）と共有し、支援を行う。
園児の保護者への支援および意見要望への対応	保護者からのご意見等については、フォームを利用していつでも受付ができるように整備している。今年度、特に保護者からご要望をいただくことはなかったが、子どもの姿を共有し、双方の理解を深めながら、子どもの対してのかかわり方や環境について考える場を設けた。

(2) 年間行事の振り返り

令和6年度は、「親子で楽しむ」をテーマにさまざまな行事に取り組んでまいりました。5月と2月に2回の懇談会を対面方式で開催。多数の保護者様に参加いただき、情報交換を

しながら親睦を深めることができました。また、となりのすまいる保育園と合同開催で行ったウィンターフェスタは、保護者会様からもたくさんのご協力をいただき賑やかで温かく、笑顔の多い行事になりました。

70周年上福岡七夕祭りにも参加。子どもたちと保護者会の共同で作り上げた竹飾りができました。親子で見た心のふるさとの景色は、子どもたちの記憶に残ったことと感じています。



(3) 給食・食育運営状況

乳児クラスにおいては、トウモロコシ、さつまいもやかぼちゃといったその季節の旬の食材に触れながら、感触・重さや大きさを感じられるような体験をすることが出来ました。また、豆苗の成長を見守り、蔓ができる様子を観察しました。また、二歳児クラスにおいては、三階テラスで廿日大根の栽培に挑戦し、その生長に気付くだけではなく、発見や喜びを自分なりの言葉で伝えあう姿が見られました。給食室との連携活動として、野菜くずを使用した野菜クイズを一・二歳児クラスで行い、給食で出てくる野菜について知る機会となりました。それぞれ、年齢に合わせた活動を取り入れながら、食に対する興味が増したと感じられます。

食提供時の誤嚥を予防するため一口量と一口大の違い、かじり取ることを意識した食事提供の重要性を学びました。これにより必要以上に細かく切って食提供をすることを防ぐことができ、事故予防および誤飲防止につながっています。



(4) 保健に関する実施結果

園児健康診断	6月18日、10月22日の2回実施
歯科健診	6月5日に実施
保健だより	保育アプリ（コドモン）の資料室にて毎月配信
職員健康診断	11月2日、12月7日に実施
職員検便	毎月、乳児保育担当者と厨房担当職員が実施
流行した感染症	・手足口病が5月10名、9月7名、10月5名の感染が確認される

	・ヒトメタニューモウィルスが12月4名の感染が確認される。 ・インフルエンザA型に1月6名の感染が確認される。
その他、保健に関する取組	5月11日、5月25日、6月1日、9月7日、11月9日に普通救命救急講習実施 8月15・16日と3月28・31日に厨房設備の害虫駆除実施 希望する職員にインフルエンザの予防接種を実施

(5) 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
4月15日(月)	地震・火災・初期消化	無	無	
5月15日(水)	地震・火災・初期消化	無	無	
6月11日(火)	総合防災訓練 地震・火災・初期消火	有	有	通報訓練 水消火器訓練
7月17日(水)	地震・火災・初期消化	無	無	
8月19日(月)	火災・初期消化	無	無	
9月17日(金)	地震・火災・初期消化	無	無	
10月16日(水)	総合防災訓練 地震・火災・初期消化	有	有	通報訓練
11月15日(金)	地震・火災・初期消化	有	有	
12月16日(月)	火災・初期消化	無	無	
1月15日(水)	地震・火災・初期消火	無	無	
2月17日(月)	地震・火災・初期消化	無	無	
3月18日(火)	地震・火災・初期消火	無	無	

7. 危機管理

(1) 非常災害備品の設置

- ・感染症や自然災害の発生時に業務を継続的に実施するために、及び非常時の体制で早期の業務の再開を図るため業務継続計画（BCP）を改訂。
- ・備蓄品の賞味期限を確認し備蓄用品の点検を実施。備蓄品のカロリー計算を行い、適正量への見直しを行い、子どもたちだけでなく職員の備蓄品を買い足した。

(2) 侵入者、不審者対応

- ・6月26日、外から1階保育室の窓をのぞき込む不審者を発見。その後玄関に侵入しようとする想定で訓練を実施する。施設内に入れないためのやり取りについて事務室が実演、保育室では安全な場所に子どもたちを避難させた。
- ・11月25日、警察の立ち合いの元正面玄関より保護者の入室と同時に不審者が侵入したという想定で、訓練を実施する。保育室で職員が対応。マニュアルに従い、合言葉を用いて各クラスへ伝達。子どもを安全な場所へ避難させる。
警察の方に「園で行うことは園の外に不審者を出すこと、捕まえるのは警察」との助言をいただく。

(3) 実施した環境整備の状況

- ・11月13日、一級建築士であり環境アドバイザーである井上寿先生を招き、ワークショップを実施する。毎月0歳児の在籍人数が増えてく中で、ゆったりと離乳食を提供できる食事のスペースの確保に課題があり、昨年度設置したロフトの位置含め環境全体の見直しを行いました。食事のスペースと遊びのスペースを区分させるために、新たにスライドドアも新設。また、1階の保育室は、早朝夕方に合同保育で使用するため、幼児にとっても楽しい空間であることが必要と考え、幼児向けのロフトも新たに設置をしました。
- ・事務室およびわくわく組（2階保育室）のトイレの戸車に不具合あり交換を行いました。
- ・「暮らしの日」として、倉庫を中心に保育環境の整備を行いました。



(4) 園外保育での緊急時対応

- ・毎月28日を「散歩の日」と定め、子どもの怪我、天候急変、散歩先での不審者対応などを計画的に実施。園への連絡体制や救急要請の方法などを、シミュレーションをしながら訓練を行った。
- ・毎日の昼礼の中で、ヒヤリハットの共有を行い、リスクの高い事例については、具体的な対策などを話し合い、事故防止に努めた。
- ・安全委員会の中で、他園で起きたヒヤリハットや事故事例を確認し合い、自園での対応について話し合いを行った。

8. 地域との関わり

(1) 自治会・行事への参加

- ・毎月第一日曜日に複数名の保育士で地域清掃に参加
- ・8月3・4日 上福岡七夕祭りに竹飾りを出展
- ・自治会のタウンミーティングに参加

(2) 公益的な取り組み

- ・「つながる相談窓口」幟の設置、衣類バンク、フードドライブの実施
- ・11月27日 地域共生社会展に参加
- ・2月18日、3月19日 スターバックス店舗の一部を利用したパパママカフェに参画

9. 職員研修

(1) 園内研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
4月20日	【合同園内研修】・安全について再確認（散歩・食物アレルギー・誤飲誤嚥・SIDS）・人権虐待・個人情報について	11人
6月1日	・普通救命救急講習・人権について・蜂・毒虫について	18人
6月8日	・保育参加・保護者支援・散歩シミュレーション	21人
7月27日	【合同園内研修】・各委員会からの報告・外部研修報告・CCWについて	24人
8月31日	・大掃除	24人
10月5日	・散歩の流れと手順についての確認・プリコラージュについて ・ヒヤリハット振り返り・BCPについて・感染症対策（嘔吐処理）・SIDS	21人
11月30日	【大掃除の日】・ウィンターフェスタについて・人権について・感染症について ・不審者訓練について・トミーの日の報告・	20人
2月22日	【合同園内研修】【厨房研修】・各園の実績報告とHP紹介 ・すまいる委員会活動報告・今年度の計画の振り返りと来年度の計画	27人
3月29日	【新年度準備】	

(2) 外部研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
5月13日	保育所における虐待防止・不適切保育・保護者対応 (埼玉県西部地区保育協議会研修会)	1人
5月25・26日	けやの森「識る学ぶ楽しむ自然の講座」	2人
6月14日	東京学芸大学付属幼稚園2024年度研究協議会・学年別公開保育検討会	1人
7月5日 8月2日 11月13日 2月25日	配慮が必要となる子ども理解(ふじみ野市園長会研修)	2人

7月19日	森からのまなざし(小西先生講演会 パパフレネの会)	13人
7月25日	資質向上研修 保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領等に基づく保育	1人
8月10日	カスタマーハラスメント(社協研修)	1人
9月28日	BCP研修～災害時の新たな課題～(社協研修)	1人
9月15日	心理的安全性のあるチームの作り方研修(社協研修)	1人
9月29日	ハラスメント防止研修(社協研修)	1人
12月4日	赤ちゃんの発達とアタッチメント-非認知的な心の発達(遠藤 利彦先生) (ふじみ野市子育て支援拠点連絡会)	2人
12月10日	井桁先生研修会(川越市私立保育園協会)	4人
1月17日	保育を聴ける語れる共有するチームマネジメント講座	2人
1月30日 2月13日	ふじみ野市相談支援包括化推進会議 第1回「ナラティブホスピタルの取組みと支援者のケア」 第2回「現場でできるストレスケアのコツ」	2人
2月5日	成長発達「保育の質」安全(+衛生)の接点(埼玉県日本保育協会女性部研修)	1人

(3) キャリアアップ研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
7月18日 10月11日 11月18日 12月13日 1月28日	食育・アレルギー対応	6人
11月18・21日 1月28日	保健衛生・安全対策	4人
10月7日 12月2日 1月28日	保護者支援・子育て支援	4人
10月5日 11月11日 1月21日	乳児保育	5人
11月11日 1月17・18日	幼児保育	1人
11月29日 12月2・13日 1月28日	マネジメント	5人
7月31日 8月9日 11月18・19日 1月21日	障害児保育	5人

10. 苦情解決のうち報告すべき事項

- ・ご意見や口頭、連絡帳・コドモンアプリ等で寄せられたすべての意見、要望、苦情については、原則「苦情対応体制」に従い対応を行った。
- ・令和5年2月1日より、「オンラインご意見箱」の URL を保護者にコドモンで配信し、意見が出やすくなることで大きなクレームになる前に、保護者の意見をお伺いすることができるようになった。
- ・ケースに応じて、法人本部に報告、相談、指示を仰ぎながら対応していく。

令和6年度 鶴ヶ岡すまいる保育園 事業報告書

1. 令和6年度 総括

今年度は「生き物が集う場所をつくる」を保育テーマとして取り組んだ。春先には、秋に植えていた菜の花の種からたくさんの花が咲き、築山の一部のスペースに花壇をつくったことで、園庭の風景にたくさんの彩りが加わった。そして、それらの草花にチョウチョやテントウムシなどたくさんの生き物が遊びに来てくれるようになったことで、子どもたちは生き物を見つけては嬉しそうに追いかけたり、観察したりして楽しめるようになった。ビオトープを進めていくことで、子どもたちにとって生き物が身近になり、より五感を使って楽しめることが増えたように感じる。

冬には、埼玉県の「みどりの活動支援補助事業」を利用し、より豊かなビオトープづくりを目指して取り組んだ。それらの活動においては、地域の小学校などでビオトープづくりに取り組んでいる方の協力を得られることになり、子どもたちと一緒に少しずつ池づくりや池周りの環境づくりを進めた。その際の取り組みの中で、地域の「在来種」を増やしていくことの大切さを学んだ。

子どもたちは地域の方との関わりも含めて非常に興味を持って参加していた。特に池の周りの杭打ちでは、大きな木槌を使い友だちと協力し合い、植物が好きな子は池の近くに植えた水生植物など穴を掘って植えていた。来年度は、更に「在来種」の植物を増やし、様々な生き物が遊びに来て、そして自然と子どもたちが関わり合う中で様々なことに興味を深めて欲しいと思う。



園庭の池。池を作ってから鳥や虫が水を飲みに来るようになった



落ち葉ケーキとむしのおうち。このように置いておくだけで、自然と生き物が集まる。落ち葉ケーキはこのまま置いておくことで土になる。



鶴ヶ岡すまいる保育園ではコミュニティセンターをはじめ、地域の方との交流が非常に多く、子どもたちにとって豊かな体験につながっている。一つは近隣の今村様が年間を通じて園庭の畑活動に協力してくれている。子どもたちは「てっちゃん」と呼び、非常に親しく関わりを持っている。今年度は畑以外にも時間があると遊びに来てくれるようになり、子どもたちにとっては身近にいる大好きな「おじいちゃん」である。駅前での「あいさつキャラバン」にも2回ほど参加することが出来た。道行く人々に「こんにちは！」と挨拶をする姿は、緊張もあったと思うが良い経験だったと思う。コミュニティセンターには定期的に遊びに行くことが出来ており、遊びにいらしている地域の方々と一緒に折り紙をしたり、お給仕をしたりと様々な経験をさせてもらっている。今後も、できるだけ地域とのつながりを大切にしながら、園内だけではできない経験をつなげていけたらと思っている。

2. 児童利用状況

(1) 月別利用児童受託状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	6	5	6	7	9	9	9	9	9	9	9	9
1歳児	13	17	18	17	17	17	17	16	16	16	16	16
2歳児	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
3歳児	19	19	20	20	20	20	20	20	20	20	20	19
4歳児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	13
5歳児	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25

(2) 延長保育利用状況（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	167	170	154	142	116	170	133	115	115	119	116	130

3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00～8:00	最大11時間	有 料	
通常保育	8:00～16:00		最大8時間	
夕方延長	16:00～18:00		有 料	
有料延長	18:00～19:00	有 料		土曜日は無し

4. 職員

(1) 3月1日時点での在籍内訳（人）

常勤職員	13人	保育士	11人	看護師	0人	栄養士	2人	支援センター	0人
パート職員	28人	保育士	13人	看護師	1人	栄養士	0人	支援センター	2人
調理員	2人	嘱託医	0人	保育補助	10人				

5. 運営報告

(1) 開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議												
わくわく会												
にじ会												
にこにこ会												

(2) 各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

安全 WT	園内外の環境整備および保全、安全・防災に関する意識の強化、子どもと保護者への情報発信と学び合いに務める。散歩先での様々な想定訓練や警察立ち合いでの防犯訓練、小学校までの広域避難訓練などを行う。
食育 WT	健康な生活の基本としての「食を通した命の営み」の育成に向け、その基礎を培えるよう、食育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組む。 保育の中での様々なクッキングや畑での収穫体験など積極的に取り入れる。

6. 保育・処遇

(1) 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	・保育者と保育内容や環境について共有し、適宜悩みや戸惑いに寄り添うよう努めた。日々の振り返りを充実させ保育に繋がりを持たせる工夫もおこなっていった。翌日の保育準備や保育活動計画書などの時間も作るよう心がけた。
保護者面談および発達相談	・現在の子どもの状況を共有しながら、事務所などに立ち寄って話しやすい環境を整えたことで、保護者からの声が上がりがやすくなってきた。また、適宜個別面談を行い、時には関係機関と連携を取りながらケースカンファレンスを行った。
園児の保護者への支援 および意見要望への対応	・日々のコドモンでの発信や口頭による要望、保護者会役員からの質問等にはその都度対応した。 ・ご意見があった場合には、しっかりと面談して話を聞く場を設けた。必要に応じて、職員の個別指導や全体共有などを行い、スピード感を持って問題解決に取り組んだ。

(2) 年間行事の振り返り

・6月の親子ふれあい遊び会は、例年同様となりのすまいる保育園との共同開催とし、鶴が丘小学校の体育館を借りて行った。多くの方に参加していただき兄弟関係の卒園児対象の種目もあり笑顔があふれる行事となった。

・ウィンターフェスタは保護者会主催の「福笑いコーナー」を設置していただき、親子で楽しめるコーナーとなった。また、自ら作成した福笑いの顔と一緒に写真を撮るなど記憶に残る行事となった。

・2月の「成長展」には多くの保護者の方に参加していただくことができた。年間を通じた作品などを展示することで普段ゆっくり話すことができない対話ができ充実した行事であった。また、日頃の子どもの様子を動画として流すことで、様々な成長を感じてもらえる時間となった。



わくわく幼児の作品の1部です

(3) 給食・食育運営状況

・個々の発達・生活リズムに応じ、楽しく和やかな食事の時間が持てるよう、個々の気持ちを尊重した関りを心がけている。一人ひとりのペースに合わせて食事がとれるようにした。

・虹グループは2月頃から「いっぱい ちょっと」のやりとりを保育者としながら、食べる量を個々で決めている。また、午後食ではセルフおにぎりをを行い、自分で食べるおにぎりを作る喜びを感じている。

・離乳食の介助者が食事介助の仕方を学び、一口量についてとスプーンを口に運んだ後、子ども主体に関わることができるように共有した。

・夢・華・虹グループは季節の食材に触れ、五感を刺激し、食材を知る食育活動を行った。

・保育と厨房の食育担当で計画立案、打ち合わせを行い、月・星・宙グループは午後のおやつ時のクッキング活動を行った。子どもたちの食への興味関心を深め、ルールやマナーを学びながらの充実した活動となった。

・宙グループは3食食品群の話聞いた上で、子どもたち同士で対話をしながら卒園のお祝い献立のメニューを立案した。

・子どもたちは畑の活動や日々の暮らしの中で、園庭の畑で採れた新鮮な野菜に触れた。月・星・宙グループでは、保育者と対話し「どのようにしてどのような味で食べたいか」を伝え、食を楽しむ姿があった。

・SDGsの取り組みとして、コンポストの活動を昨年度に引き続き、わくわく組のお当番の活動で今年度も継続した。

(4) 保健に関する実施結果

園児健康診断（内科健診）	年2回実施(6月5日、10月2日)
園児歯科検診	年1回実施(6月12日)
保健だより配信	毎月配信
職員健康診断	年1回(11月2日、12月7日)
職員検便実施	年度当初：全職員、毎月：乳児担当・厨房担当者実施
流行した感染症	手足口病が9月に流行し56件、インフルエンザA型は12月から1月に流行し8件、その他、RSウイルス感染症、アデノウイルス感染症、ウイルス性胃腸炎、突発性発疹、ヘルパンギーナ、とびひ、溶連菌感染症、水痘、ヒトメタニューモウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎の感染が数名ずつ報告された
その他、保健に関する取組	普通救命救急講習受講 5月11日、5月25日、6月1日、9月7日 11月9日 厨房設備の害虫駆除 8月15日、8月16日、3月28日、3月31日 職員のインフルエンザワクチン接種(任意) 3～5歳児を中心に保健指導の実施(手洗い・咳エチケット・プライベートパーツ) 身体測定：毎月

(5) 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
4月 17 日	避難・初期消火	無	無	
5月 22 日	避難・初期消火	無	無	
7月 16 日	避難・初期消火	無	無	
8月 29 日	避難・初期消火	無	無	
9月 17 日	避難・初期消火	無	無	
総合避難訓練 6月 13 日 10月 3 日	避難・初期消火・通報 広域避難場所避難	有	有	通報訓練 水消火器訓練 引き取り訓練
11月 15 日	避難・初期消火	無	無	
12月 16 日	避難・初期消火	無	無	
1月 15 日	避難・初期消火	無	無	
2月 17 日	避難・初期消火	無	無	
3月 6 日	避難・初期消火	無	無	

7. 危機管理

(1) 非常災害備品の設置

- ・備蓄品のカロリー計算を行い、園児、職員分として不足であった分の購入を行った。
- ・防災用品（仮設トイレ・担架）の購入を行った。

（２）侵入者、不審者対応

- ・12/17(火)園内にて不審者訓練を実施する。
- ・2月18日(火)園内にて不審者対応訓練を実施する。(警察指導あり)

（３）実施した環境整備の状況

- ・熱中症に関して、暑い時期はすべて指数を測定し対応した。指数の低い時でもテラスにミストを設置し対応した。
- ・砂場の砂の補充を行った。
- ・ビオトープをつくっていく中で、鉄棒を撤去し池をつくった。生き物や水草については今後も継続して整備していく。

（４）園外保育での緊急時対応

- ・5月29日(水)にこにこ組 園外にて子どもが動けなくなった時の対応訓練を実施する。
 - ・5月28日(火)わくわく組 園外で子どもの怪我をした時の対応訓練を実施する。
- *年間計画を立てて、毎月1回の訓練を実施する予定であったが、天候や職員体制により不定期での実施となった。
- *毎回の訓練に際して、対応マニュアルに沿って行動したことで、フローチャートの見直し、修正につながった。

8. 地域との関わり

（１）子育て支援

年6回のふじみ野市子育て拠点会議に参加。地域における配慮の必要な子育て世帯の共有に努め、どの施設に足を運んでも同じ支援が受けられるよう尽力した。また、社会福祉協議会の援助のもと、地域の高齢者との親交を深め、多世代交流の機会を多く設けることが出来た。

（２）つどいの広場

イベントの積極的な開催に努め、育児リフレッシュの機会を設けた。子育てや生活の悩みに寄り添い、必要に応じて、上野台子育て支援センターと共有を図り、きめ細やかな配慮に努めた。

遠方や家庭の事情で足を運べない保護者にために、オンラインにて月2回程度つどいの広場を開催した。また、定期コースの4回子育て講座を開催。看護や栄養士の力を借りて、より専門的な知見からの支援を行った。

(3) 一時預かり事業

今年度は、就労による定期利用が多くあった。子育て支援センターから、育児リフレッシュが必要な家庭へ一時預かりへの移行を進めるケースもあった。急遽利用を希望するケースもあり、柔軟な対応策が求められる事例もあり、行政との密な連携の必要性を再認識した。

9. 職員研修

(1) 園内研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
4月20日	・安全について：SIDS、誤飲・誤嚥、水の事故、散歩マニュアル、不適切な保育、個人情報、虐待 ・絵本について	17人
6月1日	・虐待、人権について ・蜂、毒虫について ・ふれあい遊び会について	19人
7月27日	・部会報告 ・CCWについて ・写真の撮り方について	17人
8月31日	・大掃除 ・保護者に伝わる文章について	16人
10月5日	・嘔吐処理 ・不適切な保育の脱却 ・ハロウィンについて ・BCPについて ・安全について：SIDS、個人情報	13人
11月30日	・大掃除 ・ウィンターフェスタについて ・各クラスの話し合い	17人
2月22日	・委員会報告 ・全体的な計画、年間計画等の作成 ・来年度のテーマについて ・CCWについて	15人
3月29日	・新年度準備	人

(2) 外部研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
5月13日	保育所における虐待防止・不適切保育・保護者対応	1人
5月25日	普通救命	9人
5月25日	識る学ぶ楽しむ自然の講座	4人

5月26日	識る学ぶ楽しむ自然の講座	4人
6月1日	普通救命	14人
6月4日	ふじみ野市私立保育園園長会研修会	1人
7月5日	ふじみ野市私立保育園園長会研修会	1人
7月19日	森からのまなざし 小西貴士氏講演会	12人
7月30日	カスタマーハラスメント	3人
8月2日	埼玉県保育士資質向上研修	1人
8月20日	埼玉県幼稚園等教育研究協議会	1人
9月6日	保育現場の自己評価	1人
9月7日	普通救命	7人
9月11日	ハラスメント防止	1人
10月8日	令和6年度西部地区幼保小推進協議会	1人
10月9日	組織全体で質の高い保育を展開するためのマネジメント能力の向上	1人
11月9日	普通救命	5人
11月15日	学年別公開保育検討会	1人
12月4日	令和6年度子育て支援者研修会赤ちゃんの発達とアタッチメント ～非認知的な心の発達～	5人
12月6日	小児期の口腔機能の発達について理解する	1名
12月10日	川越市私立保育園協会研修会	2名
1月17日	埼玉県西部地区保育協議会研修会	1名
2月1日	2024年度食物アレルギー専門管理栄養士フォローアップ研修	1名
2月7日	大塚製薬災害対策セミナー	1名
2月14日	子どもの発達支援講演会	2名

(3) キャリアアップ研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
7月31日	障害児保育	1人
11月30日	幼児教育	1人
12月31日	保護者支援・子育て支援	1人
12月31日	マネジメント	1人
1月31日	保護者支援・子育て支援	2人
1月31日	保険衛生・安全対策	3人
1月31日	幼児教育	3人

1月31日	乳児保育	5人
1月31日	マネジメント	2人
1月31日	障害児保育	4人
1月31日	食育・アレルギー対応	2人

令和6年度 高階すまいる保育園 事業報告書

1. 令和6年度 総括

開園から5年が経過し、園は安定した運営を継続しています。園見学には、入園を希望される保護者様をはじめ、大学の研究調査や社会福祉協議会の入職に向けた見学ツアーなど、多くの皆様にご来園いただきました。特に入園希望の方の見学は100名余ありました。今年度は、地域の方々とのつながりを大切にし、ハロウィンの行事や小学校との連携、お話し会などを開催しました。

保育環境においては、井上寿先生（一級建築士・日本保育環境学会こどもアドバイザー）のご指導の下、アトリエに大きなロフトを設置し子どもたちの登りたい気持ちを受け止め、虹グループのお部屋の環境整備のために、新しいタイプのパーテーションを設置しました。

新しいパーテーション



アトリエに出来たロフト



保育内容においては、子どもたちが自分の意思を大切にできるよう、その気持ちを尊重しています。特に子どもの人権（特に意見表明権）に配慮し、『言葉は投げずに手渡す』ことを大切にした保育を心がけています。地域のニーズに応え積極的に0歳児を受け入れ、5年連続定員（80名）を超え、Max120%の充足率にて弾力運営を行っています。小学校との連携は年長児だけでなく、年中児も参加し、就学への憧れの気持ちを育みました。年長児は学校探検や生活課の行事への参加などを体験しました。そして、就学前の幼保小連絡会議や情報交換などを通じて小学校との連携を図り、学校教育への円滑な

移行を目指して継続的な支援を行っています。

地域の子ども・子育て支援事業では、今年は開催日を第二・第四金曜日に変更しました。高階のつどいの広場で出会ったママたちがグループとなり、腸活や骨盤ピラティス、製作の日などに集まり、地域に根差す広場へと変わりつつあります。一時預かり事業では、毎月延べ 20 名前後のお子さんをお預かりし、子育て中のママたちへのサポートとなりました。

お話し会



学校探検（高階西小）



校長先生と一緒に（高階南小）



高階南小 1 年生と交流



2. 児童利用状況

（1）月別利用児童受託状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
0 歳児	12	14	15	17	22	23	23	23	23	24	24	24
1 歳児	15	15	15	15	15	14	14	14	14	13	13	13
2 歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
3 歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
4 歳児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
5 歳児	11	11	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10
合計	86	88	89	91	96	96	96	95	95	95	95	95
充足率	108%	110%	111%	114%	120%	120%	120%	119%	119%	119%	119%	119%

（2）延長保育利用状況（延べ人数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
利用総人数	158	141	227	180	209	173	177	222	183	124	188	180

3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00～8:00	最大11時間	有 料	
通常保育	8:00～16:00		最大8時間	
夕方延長	16:00～18:00		有 料	
有料延長	18:00～19:00	有 料		土曜日は無し

4. 職員

(1) 3月1日時点での在籍内訳(人)

常勤職員	15 人	保育士	14 人	看護師	0 人	栄養士	1 人	支援センター	0 人
パート職員	32 人	保育士	15 人	看護師	1 人	栄養士	1 人	支援センター	1 人
調理員	3 人	嘱託医	1 人						

5. 運營報告

(1) 開催した施設内会議

[illegible]

(2) 各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

研修 WT	・ 職員の資質向上に向けて組織的、かつ体系的な研修計画に基づいて進めました。 ・ 保育者の自己評価及び園の自己評価を定期的実施し、課題を抽出し改善に向けて取り組み、保育の質の向上に努めました。
安全 WT	・ 園内外の環境整備および安全・防災に関する意識向上を図りました。 ・ 子どもと保護者への情報発信および共通認識を持てるように努めました。
食育 WT	・ 健康な生活の基本としての「食を楽しむ ～感謝の気持ちを育む・季節を感じとる～」をテーマに食育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組みました。 ・ 保育と給食の一体化を推進し、栄養士、調理員、保育者との連携を強化しました。

6. 保育・処遇

(1) 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	・ 保育の振り返りを日々行い、非認知能力を育む保育を実践しました。 ・ 園だより、コドモン（公開日誌）、ポートフォリオ、ドキュメンテーション、ブログ等を通じて保育内容を積極的に伝え、保育の可視化を推進しました。
保護者面接 および 発達相談	・ 送迎時の対話に努め、日頃のコミュニケーション、保育参加・個人面談等を実施し、保護者と一緒に子どもの育ちを共有し、理解を深めながら子どもへの関わりや子どもたちを取り巻く環境について考えました。 ・ 川越市と連携した巡回発達相談を通じて作業療法士の指導の下、適切な対応を行い、専門家の助言を保育につなげました。 ・ 保護者の悩み等は、適宜個別面談を行い、子育ての不安軽減に努めました。
園児の保護者への支援 および 意見要望への対応	・ 口頭による要望、連絡帳の記載内容等、小さな事柄であっても相手の立場に立って真摯に受け止め、保護者の心に響くような伝え方に配慮しました。 ・ 保護者アンケートの集約結果、保育参加の感想では好意的なものが多く、感謝の気持ちをコドモンや園だより通じて発信しました。 ・ 来年度の「全体的な計画」立案の為、保護者アンケートを反映させました。

(2) 年間行事の振り返り

- ・ 保護者参加の大きな行事として、「入園式」「親子ふれあい遊び会」「ウィンターフェスタ」「卒園式」を行いました。特に「ふれあい遊び会」と「ウィンターフェスタ」は、保護者と共に作り上げることを念頭に保護者アンケートを実施し企画を考えました。
- ・ 保育参加については、保護者の方に子どもたちの日常を伝えると共に、保育者の保育の仕方から、子どもたちへの言葉のかけ方や見守り方を伝え、子育ての楽しさを知って貰えるよう努めました。
- ・ 行事のあり方として、日常の保育に変化と潤いをもたせ、子どもたちの体験の幅を広げるという考えを持ち、子どもの発想を大切にしながら自発的な取り組みになるように工夫しました。
- ・ 来年度は、子どもたちが行事を通じて、さらに地域とつながる機会を増やしたいと考えております。

(3) 給食・食育運営状況

- ・一人ひとりの発達や生活リズム等に合わせて、気持ちを尊重した食事が摂れるようになりました。
- ・0歳～2歳児（にこにこ組）クラスは、季節の食材に触れて、香りや触感などを感じる活動を行いました。
- ・3歳～5歳児（わくわく組）はSDGsに着目し、食べ物を大切にする気持ちを育む活動を行いました。
- ・厨房調理員も園児への配膳に積極的に取り組み、子どもとの対話を心掛けました。
- ・献立に郷土料理や世界の料理を取り入れ、食の多様性や文化に触れる活動を行いました。

(4) 保健に関する実施結果

園児健康診断	年2回実施（6月19日・10月9日）
歯科検診	年1回実施（6月26日）
保健だより	毎月児童数配付（コドモン一斉配信、玄関アプローチに掲示）
職員健康診断	年1回（11月2日・12月7日）
職員検便	年度当初：全職員 毎月：0歳児担当・厨房担当者実施
流行した感染症	インフルエンザA型 手足口病（いずれも集団感染には至らず）
その他 保健に関する取組	5月25日、6月1日：普通救命救急講習受講 8月15・16日、3月28・31日厨房設の害虫駆除実施 11月2日・12月7日 職員にインフルエンザ予防接種

(5) 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立合	消防署届出	その他
4月15日	避難・初期消火	無	無	
5月15日	避難・初期消火	無	無	
6月13日	避難・初期消火・通報訓練	有	有	総合訓練
7月16日	避難・初期消火	無	無	
8月19日	避難・初期消火	無	無	
9月17日	避難・初期消火	無	無	
10月16日	避難・消火・通報・引き取り訓練	有	有	総合訓練
11月15日	避難・初期消火	無	無	
12月16日	避難・初期消火	無	無	
1月15日	避難・初期消火	無	無	
2月6日	避難・初期消火	無	無	
3月15日	避難・初期消火	無	無	

7. 危機管理

(1) 非常災害備品の設置

- ・災害時備蓄品（食糧三日分）を整備し、補充しました。
- ・賞味期限を確認して、備蓄用品を点検しました。

(2) 侵入者、不審者対応

- ・警察官立ち合いで不審者役が実際に侵入する不審者訓練を実施し、学びを得ました。

(3) 実施した環境整備の状況

- ・園舎内外に設置した21台のモニターカメラを活用し、事故発生時の検証や事例検討を実施しました。
- ・命のリストによる日々の環境整備について、園内研修にて確認しました。
- ・日々の振り返り、昼礼等による情報共有や意見交換を経て各クラスの環境整備を整備しました。
- ・井上寿先生（一級建築士・日本保育環境学会こども環境アドバイザー）の指導の下、保育環境を見直しました。
- ・外壁の傷みを修正し、塗りなおしを致しました。また、同時に2F遊具のヤドカリも塗りなおしました。

(4) 園外保育での緊急時対応

- ・毎月28日を「散歩の日」に設定し、戸外活動中の訓練を実施しました。
- ・急激な天候変化、子どもの怪我や体調不良、不審者との遭遇、激しくぐずる、見失い、水筒忘れなど、あらゆる場面を想定して訓練を実施しました。

8. 地域との関わり

(1) 子育て支援

- ・ブログやInstagramを通じて、多くの方へ園の様子を発信しました。オンライン広場も有効活用しました。

(2) つどいの広場

- ・月2回、第二・四の金曜日【10:00~11:30】つどいの広場を実施し、地域の講師を招き子育て支援・保護者支援に繋がる講座を開催しました。

(3) 一時預かり事業

- ・地域のニーズに応え、就労、リフレッシュ等の理由による一時利用に多数対応しました。

(4) お話し会

- ・2月より地域のボランティアさんに来て頂き、3歳以上のクラスにてお話し会を開催しました。今後も月1回の開催になる予定です。

9. 職員研修

(1) 園内研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
4月20日	※合同園内研修 ・子どもの人権について ・すまいるの保育について ・委員会について ・生き物があふれる環境について ・絵本について ・組織の在り方について ・個人情報・虐待について ・帳票類の確認について ・散歩マニュアルについて ・ccwのキラキラシートについて ・保育と厨房の一体化について	16人
5月25日 6月1日	・普通救命救急講習	42人
6月1日	・わらべうた ・蜂・毒虫について ・人権擁護のためのセルフチェックシート ・アンガーマネジメント	16人
6月22日	・保護者支援について ・保育環境について ・食中毒・事故防止について ・不審者対応について ・事業継続計画（BCP）	17人
7月27日	※合同園内研修 ・すまいる委員会活動計画 ・けやの森研修報告 ・ぐうたら村について	20人
8月31日	・「保育者の一日」（リーフレット）確認 ・BCP・子育て支援・不審者対策について ・ヒヤリハット報告及び備蓄用品の報告・嘔吐処理について ・子ども主体の保育について ・延長保育の改善策 ・環境整備（大掃除、草むしり）	15人
10月5日	・環境整備（各クラス・ランチルーム・1F テラス・土の広場・室内階段・木の広場・玄関・事務所・休憩室・更衣室） ・感染症対応 ・午睡時の見守り ・SIDSの予防 ・個人情報の取り扱い ・散歩マニュアル ・高階のBCPに対する共通理解	14人
11月30日	・絵本「ひとり ひとり」の紹介 ・保育園の監査について ・感染症について ・人権について ・不審者対策 ・ウインターフェスタについて ・環境整備（大掃除）	19人
2月22日	※合同園内研修・令和7年度の管理職体制・各園からの報告・CCWへの移行について・委員会報告・あゆみの会3つの心得・令和7年度保育計画作成のキーワード・各園研修・クラス会議・令和7年度休日数と処遇等について・保育士資格取得支援制度について	26人
3月29日	・新年度準備 ・入園式準備 ・環境整備	17人

(2) 外部研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
5月23日	「保育所等における安全計画」について コドモンカレッジ	1人
5月25～26日	けやの森研修	1人
6月14日	東京学芸大学附属幼稚園 研究協議会	1人
7月2日	川越市私立保育園協会研修会	1人
7月6日	第10回 保育環境研究会～子どもが中心の「共主体」の保育へ	3人
7月7日	「気になるこどもたちの理解と支援」～パステルゾーンのこどもたち!の視点を忘れずに～ 川越市	1人
7月19日	森からのまなざし「小西貴士氏講演会」	13人
7月31日	カスタマーハラスメント研修	1人
11月7日	川越市保健所教育施設における感染症予防研修会	1人
11月8日	学芸大学附属幼稚園学年別公開保育検討会	1人
12月10日	子どもたちの発達を踏まえた丁寧な関わり方、保護者支援と保護者対応 川越市私立保育園	7人
1月18日	令和6年度 発達障害児支援のための園長等管理職研修	1人

(3) キャリアアップ研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
7月31日	幼児保育	2人
11月30日	幼児保育	2人
1月31日	幼児保育	2人
11月30日	乳児保育	1人
1月31日	乳児保育	1人
1月31日	障害児保育	1人
12月31日	マネジメント	5人
1月31日	保護者支援・子育て支援	2人
12月31日	保護者支援・子育て支援	1人
1月31日	食物アレルギー	2人
7月31日	保健衛生	1人

令和 6 年度 板橋保育園 事業報告書

1. 令和 6 年度 総括

(1) 運営開始と初年度の状況

2025 年 4 月より、板橋区からの運営移管に伴い、公立園からの引継ぎ期間を経て、新たに運営を開始いたしました。当初は保護者様から多くの問い合わせやご意見が寄せられ、対応に追われる日々が続きました。

(2) 保護者様と子どもたちへの対応

新園舎の建設や職員の入れ替えといった環境の変化に戸惑う子どもたちや保護者様の不安に寄り添い、どんな声も真摯に受け止めることで、信頼関係の構築を目指してまいりました。子どもたちが安心して過ごせるよう、きめ細やかな支援を続けた結果、徐々に信頼と理解が深まり、保護者の皆様からの応援や励ましの声が増えていきました。

(3) 職員の連携と成長

働く仲間たちにとっては、初めて顔を合わせる者同士であり、新入職者 6 名を含むチームを作り上げるまでには、相当の時間と努力を有しました。しかし、子どもへの愛情や保育に対する向上心を持つ仲間たちは、互いに協力し合いながら前向きな保育を受け止め、子どもの姿を考察する職員集団へと成長しつつあります。

(4) 子ども主体の保育と地域連携

従来の管理保育から解放された子どもたちは、より自由な言動を見せるようになりましたが、法人の理念と保育方針に基づく子ども主体の保育を進めることで、子どもの心に自己実現できる場であることが浸透しました。その結果、子どもたちは平穏を取り戻し、伸び伸びと日々の遊びや生活を楽しむようになりました。人形劇ごっこ、水族館作り、当番活動、異年齢交流、東京都と連携した教育プログラムなど、多様な体験を通じて、その才能や個性を存分に発揮しています。

秋以降は、近隣公園への散歩を開始し、北豊島工業高校との交流や近隣小学校への訪問など、地域とのつながりが徐々に広がり、子どもたちも新しい環境での経験を楽しんでいます。

(5) 保育環境の整備

園舎内外の工事は年度後半まで続き、工事と並行しながらの保育の中で、安全対策を最優先しました。1 月には、すまいるのアドバイザーである井上寿先生をお招きし、DIY ワークショップを開催しました。一級建築士の井上先生のご指導の下、パーテーションやキッチンなど、手作りの保育環境整備により、室内環境がより充実し、子どもたちが安心して過ごせる空間を創り上げることができました。保護者様や姉妹園の仲間の協力も得て、ワークショップを通じて育まれたコミュニティの絆は、職員同士の連携や保護者様との信頼関係の強化にも繋がりました。また、築山や大型滑り台のある緑豊かな園庭も完成し、子どもたちが自然とふれあいながら楽しく遊べる環境が整いました。

(6) 指導検査と信頼獲得

1月に実施された板橋区指導検査では、特段の指摘事項はなく、法人及び園の信頼を得ることができました。プロポーザルによる選定後、14回にわたって継続開催された第三者協議会も無事に終了しました。

(7) 今後の展望

手探りの状態から運営を開始しましたが、来年度は保護者様、地域の皆様、職員が一体となった運営を目指し、さらに多くの子どもたちと保護者様にとって安心できる環境を提供してまいります。



2. 児童利用状況

(1) 月別利用児童受託状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1歳児	15	19	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
2歳児	14	15	15	17	17	17	19	20	19	17	17	17
3歳児	22	21	21	21	21	21	21	21	19	19	20	21
4歳児	11	11	11	11	11	11	11	11	12	12	12	12
5歳児	18	18	17	17	16	16	16	16	16	16	16	16

(2) 延長保育利用状況（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	106	105	114	105	114	87	107	102	76	82	78	80

3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00～8:00	最大11時間	有 料	
通常保育	8:00～16:00		最大8時間	
夕方延長	16:00～18:00		有 料	
有料延長	18:15～20:15	有 料		土曜日は無し

4. 職員

(1) 3月1日時点での在籍内訳(人)

常勤職員	15人	保育士	12人	看護師	0人	栄養士	1人	支援センター	0人
パート職員	18人	保育士	11人	看護師	0人	栄養士	1人		人
調理員	3人	嘱託医	1人						

5. 運営報告

(1) 開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
わくわく会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
にこにこ会	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

6. 保育・処遇

(1) 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	・公開保育日誌(保育ドキュメンテーション)や電子連絡帳でのやり取りを通じて、子どもの様子を伝え、共に育ちあう視点を大切にしてきました。
保護者面接および発達相談	・年1回の個人面談に加え、希望に応じて適宜個別面談を実施し、保護者の皆様のご要望や不安に対してきめ細やかに対応しました。
園児の保護者への支援 および意見要望への対応	・園児の保護者を対象に一日保育体験(保育参加)を行いました。子どもたちと一緒に学び、食事を楽しむことで、日頃の保育内容や園の活動を体験していただき、園と保護者の共通認識を高めることができました。 ・日々お寄せいただく貴重なご意見やご要望に真摯に対応し、早期解決努めました。

(2) 年間行事の振り返り

・旧板橋保育園で行われてきた行事を大切にしつつ、子ども達の遊ぶ姿や共に話し合いを進めながら「入園式」「夏祭りごっこ」「親子ふれあい遊びの会」「伝承あそびウィーク」「豆まき」「卒園おいわい会」「お別れ散歩」を行いました。

・行事のあり方として、保育者が一方的に決めるのではなく、子どもたちの姿や話し合いから自ら楽しんで実行できるような取り組み方をしています。

- ・来年度は、子どもたちの“やりたい”思いを大切に、さまざまなことに挑戦していきたいと考えています。

(3) 給食・食育運営状況

- ・一人ひとりの発達や生活リズムに合わせて、気持ちを尊重した食事ができるように配慮してきました。
- ・1～2歳児（にこにこ組）は、季節の食材に触れて香りや感触などを感じる活動を行いました。
- ・3～5歳児（わくわく組）は、セミバイキングに挑戦し自分で食べたい時間を調整し、配膳者とやり取りをすることで、“普通”“少なく”と自分で食べられる量を調節しています。5歳児クラスは10月頃から配膳当番に取り組んでいます。
- ・厨房内が見えることで、調理員もこども対話を楽しみ、毎日の給食を楽しみにしている姿が見られました。
- ・献立に行事食や郷土料理を取り入れ、食の多様性や文化に触れる活動を行いました。

(4) 保健に関する実施結果

園児健康診断（内科健診）	年2回実施（服部医院）
園児歯科検診	年1回実施（濤岡歯科医院）
保健だより配信	毎月コドモン一斉配信、玄関アプローチに掲示
職員健康診断	年1回実施
職員検便実施	毎月全職員
流行した感染症	感染性胃腸炎、インフルエンザ
その他、保健に関する取組	普通救命救急講習受講（10/12, 11/9） 厨房設備の害虫駆除（3/29） 職員にインフルエンザ予防接種

(5) 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
4月25日	避難・初期消火	無	有	
5月15日	避難・初期消火	無	有	
6月14日	避難・初期消火	無	有	
7月30日	避難・初期消火	無	有	
8月19日	避難・初期消火	無	有	
9月17日	避難・初期消火	無	有	
10月16日	避難・初期消火	無	有	
総合避難訓練 6月14日 10月16日	避難・初期消火・通報 広域避難場所避難	有	有	通報訓練 水消火器訓練 引き取り訓練
11月15日	避難・初期消火	無	有	
12月16日	避難・初期消火	無	有	
1月15日	避難・初期消火	無	有	
2月17日	避難・初期消火	無	有	
3月17日	避難・初期消火	無	有	

7. 危機管理

（１）非常災害備品の設置

・非常災害備品を順次購入し、防災対策を一層強化しています。賞味期限を確認して、備品用品を点検しました。また、職員への災害対応訓練を定期的の実施し、非常時に備えた準備を整えています。これにより、子どもたちや職員の安全を確保し、安心して過ごせる環境を提供しています。賞味期限を確認して、備品用品を点検しました。

（２）侵入者、不審者対応

・警察署の諸事情により、警察官立ち合いの不審者訓練は実施に至らず、園内で訓練を行いました。これにより、職員と子どもたちは不審者対応のスキルを向上させ、緊急時に備えた対策を実践しました。

（３）実施した環境整備の状況

・園舎内外に設置した 33 台のモニターカメラを活用し、事故発生時の検証や事例検討を実施しました。
・命のリストによる日々の環境整備について、昼礼にて周知確認を行いました。
・日々の振り返り、昼礼などによる情報共有や意見交換を経て、各クラスの環境を整備しました。
・井上寿先生（一級建築士・日本保育環境学会こども環境アドバイザー）の指導の下、保育環境を見直しました。

（４）園外保育での緊急時対応

・法人共通の「園外保育（お散歩）マニュアル」に基づき、計画時、出発前、園外保育中、帰園時など、各場面に応じた配慮事項を遵守しています。
・日々の散歩では「チェックリスト」を用い、個別点呼で顔と名簿を照合し、人数確認を徹底しています。
・毎月 28 日を「散歩の日」に定め、急な天候変化や急病、事故、不審者との遭遇など、あらゆる場面を想定した訓練を実施しています。

8. 地域との関わり

（１）子育て支援

・ホームページ、ブログ、インスタグラム、掲示板などを通じて、多くの方々に園の様子を発信しました。また、これらの媒体を活用することで、保護者や地域の方々とのコミュニケーションを深め、園の日常を共有しています。子どもたちの活動やイベントの報告だけでなく、保育方針や教育内容についても積極的に情報を発信し、信頼関係を築く努力を続けています。

(2) つどいの広場

・今後、子育て広場、育児講座、保育園体験などを通じて、地域の子育て支援に積極的に取り組んでいく予定です。

・保護者や地域の方々との交流を深め、子育てに関する知識や経験を共有し、地域全体で子どもたちを支える環境を整えることを目指しています。

(3) 一時預かり事業

・開園当初より制度として設けていましたが、利用希望者がいないため、実績には至りませんでした。しかし、板橋区の制度を活用することで、12月より定期利用のお子様を受け入れることができました。そして、来年度にはそのお子様が正式な園児として入園することが決定しています。

9. 職員研修

(1) 園内研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
4月20日	・今年度の保育のあり方 ・研修内容について ・年間行事予定 ・職員役割分担 ・保護者懇談会について ・誕生カード作成について ・身体測定について ・遊びこめる空間の確保 ・ランチルームの活用 ・今後の展望を見据えた、子どもの主体性、自主性を育む保育について	23人
6月8日	・新入職者を対象に、動画編集技術に関する説明 ・保育環境アドバイザーの井上寿先生との話し合い共有 ・わくわく組保育室の環境整備 ・各クラスの振り返り、及び今後の保育の展開に関する話し合い ・園舎内外全体の環境整備	22人
7月27日	・すまいる委員会報告(保育部会、研修部会、安全部会、食育部会、人権監査委員会、事務委員会、広報委員会) ・けやの森研修報告 ・チャイルドケアウェブの活用について(CCW 代表保坂氏による解説) ・保育中の事故、感染症を予防するために	18人
8月31日	・保育者のリーフレットについて ・散歩コース確認 ・次世代育成委員会からの提案(ロフトでの遊びの見守り等について) ・にこにこ組、わくわく組の環境整備	18人
9月28日	・下痢、嘔吐処理について ・SIDSについて ・散歩について ・個人情報の取り扱いについて ・東京わくわくプログラムについて ・親子ふれあい遊びの会について	20人
11月30日	・成果は誰によって(行動によって)学べるのか ・子どもの人権について ・監査の必要性 ・感染症について ・不審者対応 ・DIYについて ・グループワーク(節分について、各クラスの環境設定について、就学までの流れ、東京すくわくプログラムについて)	17人

12月21日	・東京すくわくプログラムの進捗状況確認 にこにこ組、わくわく組より発表 ・卒園式について ・井上先生のワークショップについて	14人
2月20日	・令和7年度の体制について ・令和6年度 各園からの報告（主な取り組み、令和7年度に向けて） ・今年度を振り返って ～明日へのいっぽ～ ・委員会活動報告（取り組み、成果、課題） ・来年度に向けて ① フレネ教育について ② 令和7年度の保育の心得について ・各園研修（令和6年度の振り返り、令和7年度全体的な計画、年間計画、保育の心得を踏まえて） ・クラス会議（4月月案、クラス環境、子どもへの対応など）、新年度準備など ・法人本部より ① すまいるタウン ② 保育士資格取得の応援制度 ③ 研修制度について【ぐうたら村研修など】	17人
3月29日	・新年度準備	23人

（２）外部研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
5月26 ～27日	けやの森研修	5人
6月24日	乳幼児の健康観察と安全保育	1人
7月16日	子どもの権利を守る保育	1人
7月19日	森からのまなざし 小西貴士氏講演会	8人
7月27日	ポピンズ	1人
8月11日	私立保育士対象研修	1人
9月5日	保育の質の向上を目指して	1人
10月21日	保育園職員のメンタルヘルス	1人
11月24日	子ども発達支援センター支援者研修	1人
11月1日	アメリカ発 園の危機感視を学ぼう	1人
11月21日	食育の促進	1人
1月6日	食品衛生講習	1人

(3) キャリアアップ研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
7月26日	食物・アレルギー対応	1人
8月29日	幼児教育	1人
9月4日	乳児保育	2人
12月7日	食育・アレルギー対応	7人
12月5日	幼児教育	1人
12月19日	食物・アレルギー対応	2人
1月18日	障害児保育	1人
1月23日	食物・アレルギー対応	1人
1月25日	障害児保育	1人
2月1日	食物・アレルギー対応	1人
2月8日	保護者・子育て支援	1人
2月15日	保護者・子育て支援	1人

令和6年度 となりのすまいる保育園 事業報告書

1. 令和6年度 総括

今年度は児童育成協会による事業類型を一般事業主型から保育事業者型に変更し、より保育の充実を図ってまいりました。「絵本・挨拶・ビオトープ」を保育テーマに掲げ、保育を深めています。

毎月のこどものとも月刊絵本の読み聞かせを毎日行いながら、季節や興味関心に合わせた様々な絵本を用いて子どもと保育者の心の繋がりを深めながら言葉遊びや表現遊びを楽しんでいます。また、日頃の挨拶を大切にしながら、社協主催の「あいさつキャラバン」やふじみ野市主催のイベントにも参加し、地域の方との関わりも深めることができました。ビオトープの活動としてはスイレンや野菜の栽培に挑戦しました。土づくりから子ども達が力を合わせて行い、毎日様子を見に行きながら世話を続け、花を咲かせた時や少しずつ大きくなっていった野菜の収穫の喜びを味わいました。また、カブトムシの飼育等から生命の尊さを身近に感じています。

看護の面では病児保育事業の「体調不良児型」を開始しました。看護師が連携しながら、在園児が体調不良になった際の対応を行い、子ども達にも保護者様にも安心していただけるよう取り組んでいます。また、看護師より各クラスへ手洗い指導や歯磨き指導、プライベートゾーンについての指導を行いました。年齢に合わせた指導方法により、子ども達も楽しみながら学ぶことができました。

ビオトープ活動



ナスの収穫



保育環境においては、井上寿先生（一級建築士・日本保育環境学会こどもアドバイザー）ご助言のもと、環境に対する学びを深めています。姉妹園の仲間に協力によりロフト下に絵本コーナーを設け、リラックスしながら絵本を読めるスペースが生まれました。また、「みてみてコーナー」を設置し、子ども達の作品やドキュメンテーションを掲示しています。子どもと子ども、子どもと保護者、子どもと保育者、保護者と保育者といった形で対話のきっかけとなる場所になっています。

くつろげる絵本スペース



みてみてコーナー



2. 児童利用状況

(1) 月別利用児童受託状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
1歳児	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
2歳児	6	6	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6
3歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
4歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
5歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

(2) 延長保育利用状況（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	3	3	5	6	2	9	7	1	3	1	6	1

3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00～8:00	最大11時間	有 料	
通常保育	8:00～16:00		最大8時間	
夕方延長	16:00～18:00		有 料	
有料延長	18:00～19:00	有 料		土曜日は無し

4. 職員

(1) 3月1日時点での在籍内訳（人）

常勤職員	5人	保育士	4人	看護師	0人	栄養士	0人	支援センター	0人
パート職員	14人	保育士	3人	看護師	3人	栄養士	0人		人
調理員	0人	嘱託医	2人						

5. 運営報告

(1) 開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議												
となり会							/	/	/	/	/	/
わくわく会	/	/	/	/	/	/						
にこにこ会	/	/	/	/	/	/						

※今年度となり会を開催しましたが、より具体的な話を深めるため、10月よりにこにこ会・わくわく会に分けて開催しています。

(2) 各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

研修 WT	・職員の資質向上に向けて組織的、かつ体系的な研修計画に基づいて進めました。 ・保育者の自己評価及び園の自己評価を定期的実施し、課題を抽出し改善に向けて取り組み、保育の質の向上に努めました。
安全 WT	・園内外の環境整備および安全・防災に関する意識向上を図りました。 ・子どもと保護者への情報発信および共通認識を持てるように努めました。
食育 WT	・食を身近に感じられるように食育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組みしました。 ・保育と給食の一体化を推進し、栄養士、調理員、保育者との連携を強化しました。
地域 WT	・社協主催のフードドライブや衣類バンクに参画し、地域の方のご協力のもと多くの物資をお渡しすることができました。 ・オンライン支援センターの計画作成や自治体主催のイベントにおいて地域交流・子育て支援を行いました。

6. 保育・処遇

(1) 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	・保育の振り返りを毎日行い、非認知能力を育む保育を実践しました。 ・園だより、コドモン（公開日誌）、ポートフォリオ、ドキュメンテーション、ブログ、みてみてコーナー等を通じて保育内容を積極的に伝え、保育の可視化に努めました。
保護者面談および発達相談	・送迎時の対話をはじめ、日頃のコミュニケーション、保育参加・個人面談等を実施し、保護者と子どもの育ちを共有しました。 ・ふじみ野市巡回発達相談を通じて専門家の助言を保育につなげました。 ・保護者の悩み等は適宜個別面談を行い、子育ての不安軽減に努めました。
園児の保護者への支援 および意見要望への対応	・口頭による要望、連絡帳の記載内容等、小さな事柄であっても真摯に受け止め、保護者の心に響くような伝え方に配慮しました。 ・来年度の「全体的な計画」立案にあたり、保護者アンケートを実施し反映させました。

(2) 年間行事の振り返り

・保護者と共に作り上げる行事を念頭に、入園式・卒園式とともに各行事を行いました。6月の親子ふれあい遊び会では、3歳以上児クラスが姉妹園の子どもたちとともに、親子で身体を動かす楽しさを共有しました。10月のハロウィンでは、地域の方のご協力のもと12月のウィンターフェスタでは2部制にすることで発達に合わせたブースをゆったりと親子で楽しむ姿がありました。各部の終わりには三丁目公園にてわらべうたを楽しみ、心温まる時間となりました。

親子ふれあい遊び会



ウィンターフェスタ



・5月と2月に実施した懇談会では、園の運営や子どもたちの生活や遊びの様子、子どもたちの成長を知っていただきました。また、保護者同士で悩みを共有し、情報交換しながら親睦を深める様子もありました。2月の懇談会時には初めてとなる成長展も開催しました。子どもたちの活動してきた制作物やドキュメンテーションの展示、各クラスの様子がわかる動画視聴にて子どもたちの成長を感じていただきました。

・保育参加では日頃のお子様の園での様子を実際にご覧いただくことで保育理解へと繋げました。面談でご家庭と園の様子を共有することでお子様の成長について喜びを共有したり、今後の発達の見通しを話し合い、関わり方などの共通意識を高めることができました。

・園外活動では、姉妹園交流や、けやの森をはじめとしたバス遠足を実施しました。多くの人や自然、動物など自園だけでは経験できない多くの貴重な学びとなり、子ども達の更なる成長に繋がりました。実施するまでに話し合いを重ね、実施後に振り返りを行うことで、子ども達自身の気持ちを伝えあうことや友だちと一緒に物事を進めていく楽しさや難しさを味わい、やり遂げる達成感等を経験する機会となりました。

・来年度も子どもの発想を大切にしながら自発的に取り組んでいけるよう進めていきたいと考えております。

けやの森遠足



成長展



(3) 給食・食育運営状況

- ・ひとりひとりの発達や生活リズムに寄り添って、丁寧に給食の提供を行っています。
- ・各クラス野菜くずを使った「おやさいクイズ」の実施や栄養士と連携して育てた野菜を給食に盛り込んでもらうことで食への関心を高めていきました。
- ・クッキングでは、子どもたちへの依頼という形で給食の調理の一工程を手伝ってもらう活動を取り入れたり米を研ぐことにチャレンジすることで、調理してもらうことへの感謝の気持ちも味わいました。
- ・流しそうめんや柑橘類の食べ比べを行い、楽しみながら様々な食育活動にも取り組みました。

(4) 保健に関する実施結果

園児健康診断（内科健診）	年2回実施
園児歯科検診	年1回実施
保健だより配信	毎月児童数配付（コドモン資料室、保育室に掲示）
職員健康診断	年1回
職員検便実施	毎月厨房・調乳に携わる者が行う
流行した感染症	インフルエンザB型・感染性胃腸炎・手足口病・リンゴ病
その他、保健に関する取組	夏季、年度末に厨房の害虫駆除実施 職員健康診断時にインフルエンザ予防接種

(5) 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
4月15日	避難・初期消火	無	無	
5月15日	避難・初期消火	無	無	
総合避難訓練 6月11日	避難・初期消火・通報	有	有	通報訓練 水消火器訓練
7月17日	避難・初期消火	無	無	
8月19日	避難・初期消火	無	無	
9月17日	避難・初期消火	無	無	
月 日	避難・初期消火	無	無	
総合避難訓練 10月15日	避難・初期消火・通報	無	有	通報訓練 水消火器訓練
11月15日	避難・初期消火	無	無	
12月16日	避難・初期消火	無	無	
1月15日	避難・初期消火	無	無	
2月17日	避難・初期消火	無	無	
3月18日	避難・初期消火	無	無	

7. 危機管理

(1) 非常災害備品の設置

- ・非常災害備品を整備し補充するとともに、新たな非常災害備品を購入しました。
- ・賞味期限を確認して、備蓄用品を点検しました。

(2) 侵入者、不審者対応

- ・警察官立ち合いの不審者訓練は実施に至らず（警察署の諸事情により）園内にて行いました。（年2回）

(3) 実施した環境整備の状況

- ・園舎内外に設置したモニターカメラを活用し、事故発生時の検証や事例検討を実施しました。
- ・日々の振り返り、昼礼等による情報共有や意見交換を経て各クラスの環境整備を整備しました。
- ・井上寿先生（一級建築士・日本保育環境学会こども環境アドバイザー）のご助言の下、保育環境を見直しました。
- ・水道点検を行い、パイプの点検・修繕を実施しました。園内でも水の使い方や水道の蛇口の確認を改めて行いました。
- ・屋上園庭の備品倉庫に火災報知器を設置しました。

(4) 園外保育での緊急時対応

- ・毎月28日を「散歩の日」に設定し、戸外遊び中の訓練を実施しました。
- ・急激な天候変化、子どもの怪我や体調不良、不審者との遭遇、激しくぐずる、見失いなど、あらゆる場面を想定して訓練を実施しました。

8. 地域との関わり

(1) 子育て支援

- ・園の掲示板にて園だよりを掲示し、園の様子やお知らせを発信しました。また、ブログやインスタグラムを通じて、より多くの方へ園の様子を発信しました。
- ・法人として毎月わらべうたを発信し、楽しめる親子時間の提案を行いました。
- ・社会福祉協議会と連携し、スターバックスコーヒーにて開催されるパパママカフェに参画しました。和やかな雰囲気の中、悩みを聞いたりしながら地域の方との交流を深めました。

(2) つどいの広場

- ・月1回つどいのひろばを実施しました。休止期間を経て、姉妹園からの出張ひろばを開催しました。
- ・姉妹園とともにオンラインひろばを開催し、未就学児の親子の子育てに寄り添う活動となりました。

(3) 一時預かり事業

- ・地域のニーズに応え、就労やりフレッシュ等の理由による利用がありました。

9. 職員研修

(1) 園内研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
4月20日	人権虐待・個人情報・安全(SIDS・誤飲誤嚥・アレルギー・お散歩)等	16人
6月1日	人権虐待・安全(毒虫) / ふれあい遊び会 準備	15人
6月8日	保護者支援(その他職員はふれあい遊び会)	1人
7月27日	各委員会報告・新卒研修報告・CCW説明会	14人
8月31日	大掃除・各保育室環境設定	8人
10月5日	安全(SIDS・散歩・ヒヤリハット・BCP)、看護(嘔吐処理)他	12人
11月30日	人権・保護者支援・安全(不審者対応)・看護(感染症対策)他	15人
12月21日	大掃除・各保育室環境設定	16人
2月22日	各委員会報告・各園実践報告・法人本部より発表	13人
3月29日	新年度準備(予定)	13人

(2) 外部研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
5月11日	こども教育宝仙大学教授 富山大士先生による「職層別研修」(管理職)	1人
5/11,25,6/1, 9/7,11/9	普通救命講習	19人
6月5日	こども環境アドバイザー 井上寿 先生による「保育環境整備」 ⇒諸事情により中止(講義、相談のみ)	5人
6月5日	日本保育協会埼玉支部 子どもが楽しい・保育者も楽しい保育を目指す 『子どもが会える「環境」から遊びを広げよう』	1人
6月26日	安全運転管理者講習	1人
7月19日	パパフレネの会 小西貴士氏による「森のまなざし」 自然体験と子どもの育ちを考える	6人

7月24日	こども環境アドバイザー 井上寿 先生による「保育環境整備」	1人
7月25日	埼玉県保育士等資質向上研修「保育所等における児童虐待の防止」	1人
8/1～12/20	こども家庭庁 企業主導型保育事業「施設長研修」	1人
8月28日	令和6年度認可外保育施設等保育従事者研修会 「事故防止・安全管理」「保護者との良いコミュニケーションをとるために」	2人
9/2～12/20	こども家庭庁 企業主導型保育事業「保育安全研修」⇒未修	1人
9/3～9/16	埼玉県社会福祉協議会「ハラスメント防止研修」	1人
9月24日	埼玉県社会福祉協議会「令和6年度BCP研修～災害時の新たな課題～」	1人
10月10日	こども教育宝仙大学教授 富山大士先生による「職層別研修」(非常勤)	1人
11月13日	こども環境アドバイザー 井上寿 先生による「保育環境整備」	3人
11月21日	こども教育宝仙大学教授 富山大士先生による「職層別研修」(非常勤)	1人
12月10日	井桁先生研修会(川越市私立保育園)	1人
1月29日	こども環境アドバイザー 井上寿 先生による「保育環境整備」	1人

(3) キャリアアップ研修実績

実施日	テーマ・内容	参加人数
6/22, 6/29	障害児保育	1人
9/9～11/11	[eラーニング] 乳児保育	2人
	[eラーニング] 幼児教育	2人
9/16～11/18	[eラーニング] 障害児保育	4人
	[eラーニング] 保健衛生・安全対策	1人
	[eラーニング] 食育・アレルギー対応	1人
9/30～12/2	[eラーニング] 保護者支援・子育て支援	2人
	[eラーニング] マネジメント	1人
12/23～1/28	[eラーニング] 保健衛生・安全対策	1人